

第 22 回全日本シニア軟式野球選手権北海道大会開催要項

第 1 条 (開催期間)

2026 年 7 月 18 日(土)・19 日(日)・20 日(月)・予備日 21 日(火)

第 2 条 (開催場所)

江別飛鳥山球場・栗沢スポーツ公園球場・栗山町民球場・長沼運動広場野球場

第 3 条 (参加資格)

チームは 2027 年 4 月 1 日までに満 50 歳以上で、監督・コーチを含め 30 名以内の選手で構成し、2026 年 4 月 1 日までに北海道支部に登録したチームとする。

代表者・マネージャー・スコアラーは含めない。

第 4 条 (参加チーム)

32 チームとする

第 5 条 (表彰)

優勝チーム : 優勝旗・優勝杯・表彰状・トロフィー

準優勝チーム : 表彰状・トロフィー

個人賞 : 記念品

第 6 条 (参加費)

連盟年度登録料 : 10,000 円

大会参加費 : 35,000 円

第 7 条 (大会規定)

2026 年度公認野球規則ならびに本大会の特別ルールを適用する。

試合開始 30 分前までに、オーダー表 4 通を添えてベンチ入り選手全員の運転免許証の写し(一覽)に背番号を加筆し提出のこと。顔写真が不鮮明な選手は出場できないので注意して下さい。

試合終了後、両チームは協力してグラウンド整備を行うこと。

第 8 条 (試合形式)

トーナメント方式、全ゲームは 7 回戦とし 100 分を超えて新しいイニングに入らない。

ただし、勝っているチームの攻撃中に 100 分を超えた場合は試合を継続し、敗れているチームの攻撃終了を以って試合成立とする。

同点の場合は、無死 1・2 塁・次打者からの促進ルールとし 1 回のみ行う。

尚決しない場合、最終出場選手 9 名による抽選で勝敗を決する。

但し、決勝戦は時間制限なく延長 9 回まで行い、同点の場合は勝敗が決するまで促進ルールを継続する。

雨天コールドは 4 回表終了時に先行チームが敗れている場合及び 4 回裏終了時後攻チームが敗れている場合は試合成立とし、それに満たない場合は、ゲーム中段時点の状態から継続試合を行うものとする。

※DH 制の採用はチームの任意とする

第9条 (用具・装具)

バット・ヘルメット(捕手用を含む)・レガース・プロテクターはJSBB公認用具、並びに装具の使用を義務付ける。但し、スパイク底は危険防止の為、金属製を禁止する。

(但しDH制を採用のチームは、投手のみ守備を行う場合に限り、金属製の使用を認める)

第10条 (使用球)

JSBB 公認 Mボール

第11条 (大会審判員)

日刊スポーツ野球クラブ、江別野球連盟、夕張軟式野球連盟、長沼町軟式野球連盟 審判部

第12条 (申し込み期限)

2026年2月28日迄とし、新規参入チームは年度末に開催の役員会議で承認を得るものとする。

第13条 (申し込み先)

全日本シニア軟式野球連盟北海道支部

事務局 駒嶺 浩 メール shinia_50h_jimukyoku@outlook.jp

第14条 (組合せ抽選)

総会開催時(2026年4月12日予定)に組合せ抽選を行う。

第15条 (主催)

全日本シニア軟式野球連盟北海道支部

第16条 (後援)

北海道・全日本シニア軟式野球連盟・札幌市全区軟式野球連盟・札幌軟式野球連盟

日刊スポーツ新聞社・江別野球連盟・長沼町軟式野球連盟

第17条 (協賛)

マルエス株式会社

第18条 (その他)

優勝チームと準優勝チームは、同年の全日本シニア軟式野球選手権全国大会に出場できる。

第3位チームは、同年の北日本50歳野球大会に出場できる。

本大会出場のチームはスポーツ安全保険に加入すること。